

# 高齢化社会における

# 食の重要性



～ 食べられなくなる前に ～

## 9月14日(水)

## 18:30～20:30

場所：高山市民文化会館 2-5



日本の医療業界は、高齢化社会を見据え、病気を予防することで医療費抑制に動き出しています。老年医学の領域では、後期高齢者が要介護状態になる原因として、低栄養に注目しています。低栄養の改善には、義歯が合わない、口腔内の衛生状態が悪いといった歯科の問題や、加齢や病気によって生じる摂食嚥下障害に対応することが重要です。

医療法人三継会では、摂食嚥下障害の重要性にいち早く着目し、数年前より口腔ケアを始めています。この夏より、安心して食事を摂っていただく方法をご提案するため、嚥下内視鏡検査を実施できる「摂食嚥下部門」を立ち上げました。安全に食事を摂る方法を学んでいただくための講演会です。この機会に、ぜひご参加ください。

### タイムスケジュール

- 18:10 開場
- 18:30 開始
- 18:30～ 講演①  
高齢化社会における『歯科の役割』  
医療法人 三継会 理事長 山下直哉 先生
- 18:45～ 講演②  
食べられなくなる前に出来ること  
理学療法士 井出浩希 先生
- 20:00～ 質疑応答
- 20:30 終了

### 講師プロフィール

## 理学療法士 井出浩希

日本摂食嚥下リハビリテーション学会 認定士  
日本静脈経腸栄養学会 NST専門療法士  
3学会合同呼吸療法認定士

#### セミナー歴(抜粋):

平成26年 全国自治体病院協議会 リハビリテーション部会研修会  
「低栄養・サルコペニアへの対応についての実践報告」

平成28年 リハ栄養フォーラム2016in名古屋

「慢性期におけるリハ栄養の可能性～脳卒中嚥下障害の一例～」

高山・飛騨地区に住む皆さんに嚥下障害について知って頂き、嚥下障害とうまく付き合う方法についてお伝えしていきます。医療・介護従事者の方には、嚥下障害の方の治療に対する新しい考え方をお伝えしていきます。歯科医師の元、歯科衛生士と共に嚥下内視鏡検査による評価を行い、食べるときの姿勢や食事形態、介助方法、嚥下訓練について提案致します。

